

Art Laboratory Hashimoto

Annual Report 2022 2022.04 - 2023.03

アートラボはしもと

Art Laboratory Hashimoto

〒252-0207

相模原市中央区矢部新町3-15 市立青少年学習センター内

TEL.042-703-4654 FAX.042-703-4659

E-mail artlabo@city.sagamihara.kanagawa.jp

URL <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp>

[交通案内]

JR 横浜線矢部駅下車 徒歩3分

令和5年10月発行

編集・発行 アートラボはしもと(相模原市市民局文化振興課)

令和4年度

所 長 松島政幸

学 芸 員 加藤慶

美術専門員 柳川雅史/越智波留香/富田さゆり/入江彩美/
塚本かな恵

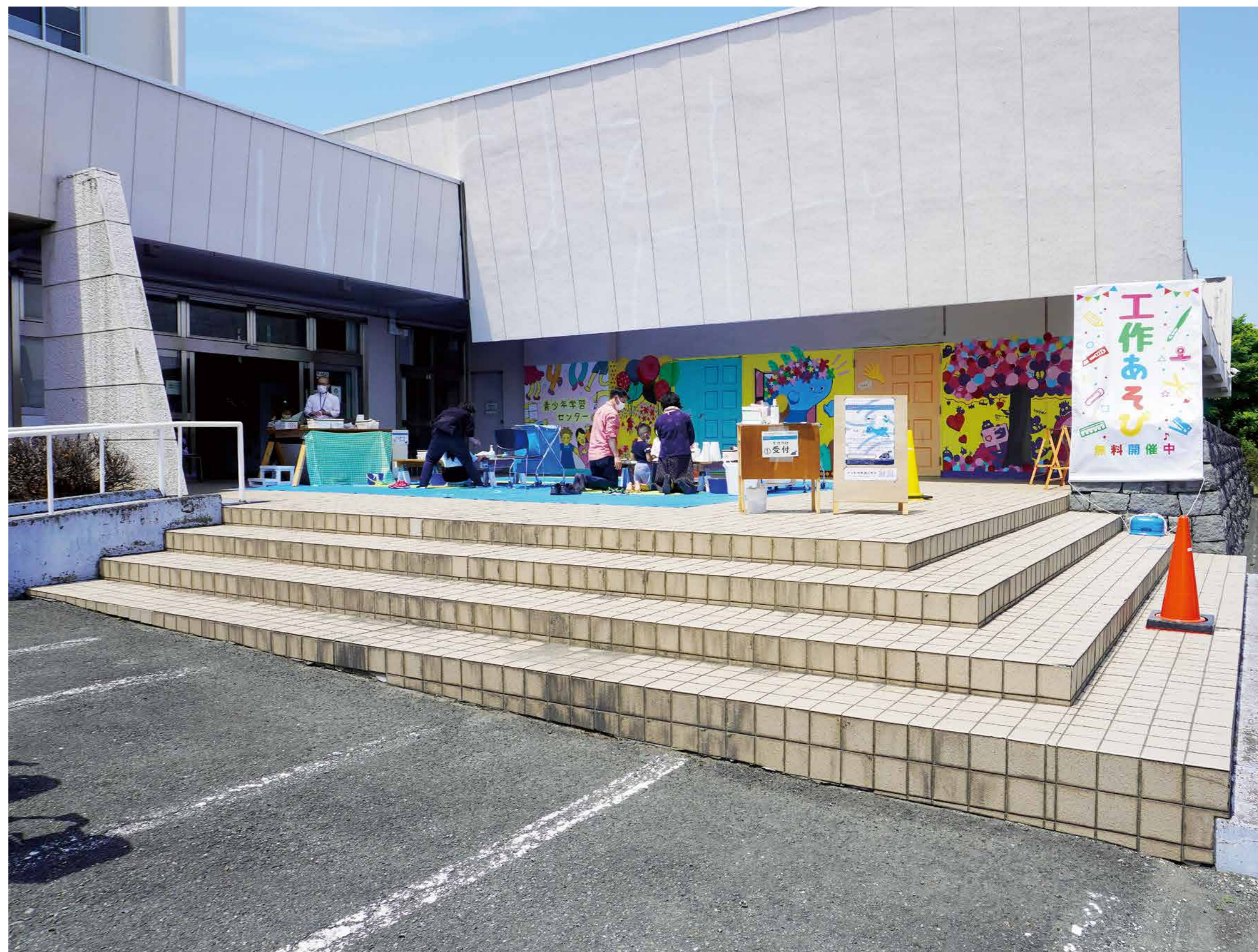
令和5年度

所 長 松島政幸

学 芸 員 加藤慶

美術専門員 柳川雅史/富田さゆり/塚本かな恵/土屋美紀

印刷・デザイン 有限会社オフィス ジオ



Art Laboratory Hashimoto

アートラボはしもとは、周辺にある美術系大学などと連携し、そこで学ぶ美大生や卒業生、子どもたちや地域の方々、商店街や企業、学校、研究機関、市民グループなどと協力しながら、多彩なアート事業を展開する“アートの活動拠点”です。現在は、建物の再整備のため一時閉館し、市立青少年学習センター内の仮事務所において準備並びにアウトリーチを中心とした事業を行っています。



アートラボはしもとの11年目

平成24年から活動を続けてきたアートラボはしもとですが、建物の再整備のために令和3年8月に一時閉館しました。現在は、仮事務所を市立青少年学習センターに置き、再整備事業と併行しながらアウトリーチを中心としたプログラムを展開しています。

再整備事業では、後継施設と民間施設とを併設する複合施設として整備するため、民間事業者による公募型プロポーザルを実施しました。その結果、優先交渉権者として株式会社ファジー・アド・オフィスが選定されました。その事業者による提案内容に基づき、内装設計者の選定に伴う公募型プロポーザルも行いました。こちらはトミト・ANT・川見設計共同体が最優秀者に選ばれています。

コロナ禍により自粛を余儀なくされてきた事業も徐々に再開し始めています。まず、この2年間オンラインでの活動が主だった

「SUPER OPEN STUDIO」(以下S.O.S.)では、3年ぶりにスタジオの一斉公開が行われました。会期中にスタジオを訪れた市民やアーティストたちは再会を喜び、交流を深めることとなりました。

また、当館のリニューアル後の活動を見据えた出張型の連携事業もいくつか再開しています。例えば、児童クラブで実施したダム湖の流木を素材とした工作プログラムなどは、地域資源を活かし、事業を通して当館と地域のあり方を模索したものです。アウトリーチ活動を行うことで新たな出会いや課題も見付き、今後の活動に大きな可能性を示すものとなりましたが、このような調整を図りながら、再整備への移行期間ならではの取り組みをしていきたいと考えています。

活動方針

- 1 アートによるワークショップなどを通じて幅広い世代の市民が美術を体験する場を、施設内にとどまらず市内の各地に展開します。
- 2 様々な主体との協働や異分野との連携を進め、アートを通じたコミュニティの形成やまちの賑わいづくりを推進します。
- 3 地域の若手アーティストを支援するとともに美大生に活動の場を提供し、アートに関わる人材を育成します。



再整備事業について

アートラボはしもと再整備事業は、官民連携の相乗効果によるアートを通じたコミュニティの形成やまちの賑わいづくりの推進を目指すため、その後継施設と民間施設が併設する複合施設の整備を行うものです。令和4年度は、再整備の担い手が選定されるなど、事業が進展する1年となりました。

まず事業は、令和4年3月から5月にかけての、再整備を担う民間事業者の公募から始まりました。これについては2者から手が挙がり、有識者で構成する「アートラボはしもと再整備事業審査委員会」においてその提案書やプレゼンテーションを審査した結果、株式会社ファジー・アド・オフィスが優先交渉権者として選定されました。同社の提案は、「アソビノアトリエ」を事業コンセプトに、後継施設を中心にモデルハウスが建ち並ぶ住宅展示場を整備し、これにアートへの関心を高める機能を追加することで、幅広い世代の市民が発見や学びを感じる交流拠点となることを目指すものです。これを受け、8月には同社と「アートラボはしもと再整備事業に係る基本協定」を締結しました。

続いて、この優先交渉権者の提案を受け、8月から10月にかけてはその内装設計を行う設計者を募集しました。32者の応募があり、どの提案もこれまでのアートラボはしもとの取り組みを理解したうえで、今後の活動や運営に関するアイデアを提示するなど、施設を共につくろうとする意欲のあるものでした。これらの提案につい



再整備事業内装設計者選考 公開プレゼンテーション



再整備事業内装設計者選考委員会

ては、11月・12月と2回にわたって、同じく有識者で構成された「アートラボはしもと再整備事業内装設計者選考委員会」において審議がされています。同委員会は、各応募者の技術提案書やプレゼンテーションを審査し、その結果、最優秀者1名、優秀者1名を選定しています。最優秀者のトミト・ANT・川見設計共同体による「ミックスラボ」という提案は、みんなの「つくる」をきっかけに、まち・ひと・出来事が豊かに混ざり合い、100の変化がある新アートラボを目指す内容となっています。市民・アーティスト・美大生などさまざまな主体の活動が混ざり合うことで、より多様な活動の連鎖が生み出され、幅広い世代の方がアートラボはしもとを利用することが期待されます。また、設計の段階でワークショップを開催したり、設計分室を開設したりするといった、市民と共につくするための取り組みの提案も高く評価されました。

アートラボはしもと再整備に向けた取り組み

- 2022.03 | アートラボはしもと再整備事業に係る民間事業者公募
- 2022.06 | 株式会社ファジー・アド・オフィスを優先交渉権者に選定
- 2022.08 | アートラボはしもと再整備事業に係る基本協定書を締結
- 2022.08 | アートラボはしもと再整備事業内装設計に係る公募型プロポーザルの実施
- 2022.09 | 現地見学会の開催
- 2022.12 | 内装設計者最優秀者をトミト・ANT・川見設計共同体に選定

補記 (優先交渉権者の辞退について)

基本協定を締結していた株式会社ファジー・アド・オフィスから、「総合住宅展示場の整備に向けて調整してきたが、目標としていた数のハウスメーカーの賛同が得られない」として、優先交渉権者の辞退に係る申出があり、令和5年6月に基本協定を解除しました。優先交渉権者の辞退を受け、次点交渉権者に基本協定締結のための協議を申し入れました。



優先交渉権者による建設イメージ図

地域連携

建物の一時閉館に伴い、今年度は図書館や児童クラブなどさまざまな会場で工作プログラムを展開するアウトリーチ活動に重点を置きました。

プログラムに関しては、ダム湖から採取した流木を使って地域資源への関心を高めたり、企業で用いた素材を再利用することで

SDGsに貢献したりするなど、新たな視点を取り入れた内容を考案しました。

こうしたアウトリーチ活動によって得られる貴重な経験を基に、その成果や改善点を検討し、リニューアル後により良い活動が展開できるよう、さまざまなノウハウの蓄積に取り組んでいます。



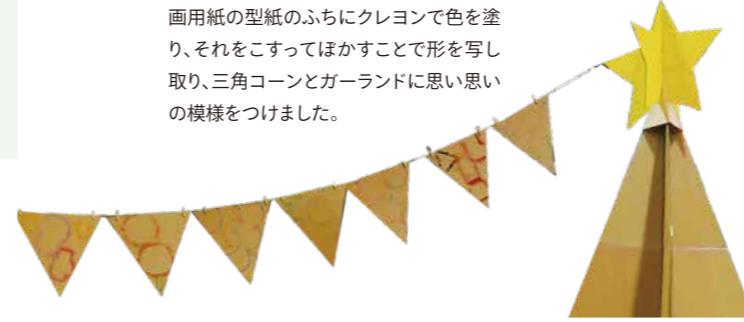
障害のある方のスポーツ活動の拠点である市立けやき体育館と連携して実施した工作プログラムです。同館ではスポーツのほかに、毎月、来館者と創作活動を楽しむプログラム「ふらっとアート」を実施しています。これに3回にわたって参加し、12月のイベント「パラスポーツ体験会inけやきウィーク」の会場を飾る装飾を段ボールで制作しました。イベント当日は工作コーナーを設け、クリスマスツリーに飾る段ボールのオーナメントづくりを行いました。なお、プログラムの実施にあたっては、市内にある紙器製造企業に協力を仰ぎ、大量の段ボールを提供していただきました。

日時 | 令和4年9月18日(日)・10月23日(日)・11月26日(土)
9:30~12:00
令和4年12月3日(土)・4日(日) 10:00~15:00
会場 | 相模原市立けやき体育館
主催 | 相模原市立けやき体育館
協力 | アートラボはしもと、株式会社東鈴紙器

ふらっとアート 令和4年 9月18日(日)

三角コーンとガーランドに模様をつけよう

画用紙の型紙のふちにクレヨンで色を塗り、それをこすってぼかすことで形を写し取り、三角コーンとガーランドに思い思いの模様をつけました。



ふらっとアート 令和4年10月23日(日)

トナカイに模様をつけよう

トナカイの胴体となる段ボールに紋切りした折り紙をスプレーのりで貼ります。その上からローラーで色を塗り、乾いたあとに折り紙をはがすことで模様をつけました。大型の作品は、参加者が協力して制作しました。



ふらっとアート 令和4年11月26日(土)

パラスポーツのアイコンと看板をつくろう

けやきウィークで体験できるパラスポーツについて説明を受けたあと、丸や四角の段ボールを組み合わせて競技アイコンをデザインしました。台紙となる段ボールにアイコンを貼り、絵の具を塗ります。そこに別の段ボールを重ねて刷って形を写し取り、9月18日に制作した三角コーンにつけて完成です。また受付看板も皆で組み立て、段ボールの端材を利用してつくった「こうさくコーナー」の文字を貼りつけました。



パラスポーツ体験会inけやきウィーク 令和4年12月3日(土)・4日(日)

クリスマスオーナメントをつくらう

「ふらっとアート」で制作した装飾やクリスマスツリーを会場内に設置しました。来場者はさまざまな形の段ボールをシールやマスキングテープで彩り、ツリーに飾るオーナメントをつくりました。



工作活動を通じて共生社会の実現を目指す

社会福祉法人
相模原市社会福祉事業団
生活支援員（スポーツ指導員）
桐生 梨沙

アートラボはしもとと、けやき体育館の連携事業は、今回で2回目の実施となります。この事業は、多様な工作プログラムを実践するアートラボはしもとと、障害のある方の余暇活動を支援するけやき体育館がそれぞれの特徴を活かし、融合させ、障害のある方がその人らしい表現に取り組めることを目指して始まりました。今回は「ポッチャボールを作ろう！」と題し、パラリンピック正式競技である「ポッチャ」のボールを参加者が自ら作り、実際に試合で使いながら楽しみました。

そして、今回は「共生」というキーワードをプラスしました。障害の有無に関わらず誰もが一緒に楽しめるイベントとして、障害のある方や障害への理解促進を目指したのが「あつまれ!ダンボ☆スター〜段ボールでいろいろつくっちゃお!〜」です。完成した作品のスケール感やさまざまな技法を用いた工作活動は、けやき体育館では普段なかなか体験できないものでした。大きな作品をみんなでつくり上げる達成感や、自己表現することの喜びの声を参加者のみなさんからいただくことができたのはとても嬉しい出来事でした。また、今回の工作活動を通じ障害の有無に関わらず、参加

相模原市立けやき体育館において障害のある方の余暇活動支援に従事。主にイベントやスポーツ・文化講座、パラスポーツ体験会等の企画・運営に携わっている。

者同士で自然とコミュニケーションが生まれたのも成果として実感しています。

その一方で、今後、この連携事業の中で「共生」というテーマをどう表現し、伝え、障害理解へ繋げていくのが明確な課題となりました。

私たちの連携事業は始まったばかりです。試行錯誤を重ねながら、工作活動を通じて、地域のみなさんと一緒に共生社会の実現を目指していきたいと思っています。



その他の地域連携

主催事業



児童クラブ定期ワークショップ

湖からのおくりもの!流木でリースをつくらう!

市内のダム湖に集まる小さな流木を素材とした工作キットを作成し、児童クラブに提供しました。子どもたちは、三角に組んだ流木にフェルトの飾りなどを貼り、顔を手描きした雪だるまをつけてリースをつくりました。



会場・日時 | [旭 児童クラブ] 令和4年11月9日(水) 14:00~15:00
[小山児童クラブ] 令和4年11月17日(木) 14:00~15:00、
11月18日(金) 随時

主 催 | アートラボはしもと

主催事業



市立図書館・アートラボはしもと連携事業

つくっちゃおう かみしばい! 第8幕

子どもたちが自分で考えた物語を紙芝居にして発表する市立図書館との連携ワークショップです。紙芝居作家の本多ちかこさんを講師に迎え、紙芝居の制作のほか、実演の仕方を練習し、その成果を市立図書館でのイベント「キッズ★フェスタ2023」で発表しました。全て対面形式での開催は3年ぶりでした。

日時 | [制作] 令和5年3月18日(土)・21日(火・祝)・25日(土) 13:00~17:00
[発表] 令和5年4月22日(土) 14:00~15:00

会場 | 相模原市立青少年学習センター、相模原市立図書館

講師 | 本多ちかこ

主催 | 相模原市立図書館、アートラボはしもと

主催事業



どこでもアートラボ ~青空工作あそび~

たわしでシャカシャカ♪ ビビットこいのぼりのしおりをつくらう!

こどもの日にちなんで、こいのぼりの形のしおりをつくりました。絵の具がついたタワシを網にこすりつけて、絵の具を霧状にとばすスパッタリングの技法で模様をつけました。

日時 | 令和4年5月5日(木・祝) 10:00~12:30
会場 | 相模原市立青少年学習センター 屋外広場
主催 | アートラボはしもと
協力 | 相模原市立青少年学習センター

協力事業



無印良品 相模大野ステーションスクエアとアートラボはしもと連携事業

どこでもアートラボ 泡でブクブク! 夏色エコ風鈴をつくらう!

無印良品 相模大野ステーションスクエアと連携し、絵の具の泡で模様をつけた紙で風鈴をつくりました。SDGsを意識し、材料の紙には店内で掲示されたポスターを再利用しました。

日時 | 令和4年8月19日(金)
11:00~11:40、12:00~12:40、14:00~14:40、
15:00~15:40、16:00~16:40
会場 | 相模大野ステーションスクエア
主催 | 無印良品 相模大野ステーションスクエア
協力 | アートラボはしもと



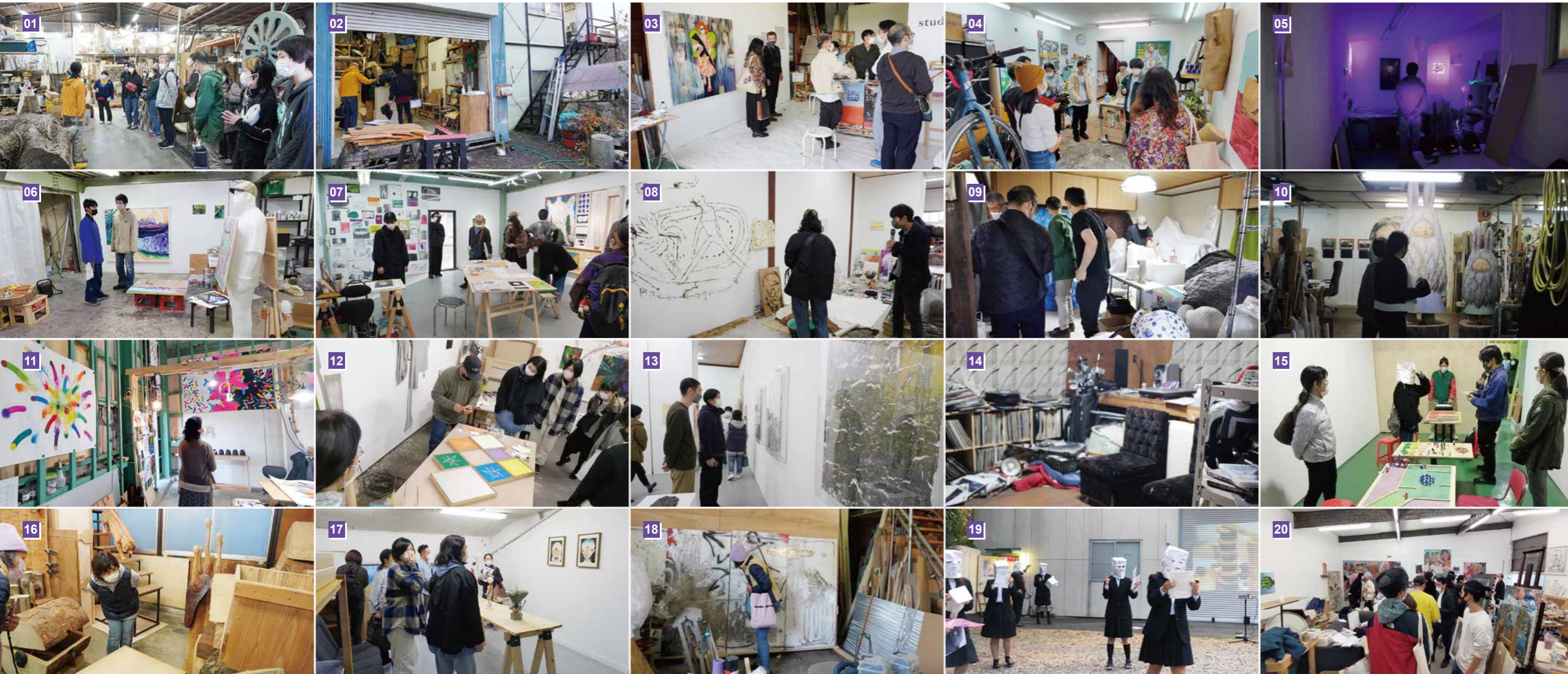
SUPER OPEN STUDIO 2022

会期 | 令和4年11月12日(土)・13日(日)・19日(土)・20日(日)
 主催 | SUPER OPEN STUDIO 2022 実行委員会 (Super Open Studio NETWORK・アートラボはしもと)
 共催 | アートラボはしもと(相模原市)
 協賛 | 多摩美術大学校友会

複数の美術大学が所在する相模原市と町田市・八王子市のエリアでは、卒業後もそこに留まった多くのアーティストたちが、工場や空き家をリノベーションして制作活動を続けています。

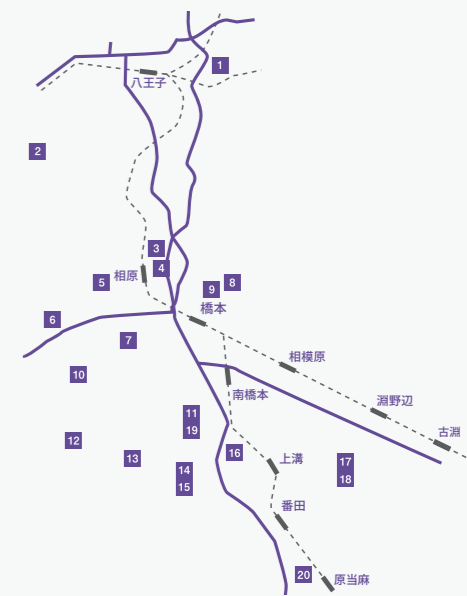
2013年から開催している「S.O.S.」は、それらの制作場所(スタジオ)に所属するアーティストたちが自分たちのスタジオを公開するアート・プロジェクトです。

2020年から2021年のコロナ禍の2年間は、スタジオの個別公開や、関連プログラムであるオンラインイベント、動画配信などを行っていましたが、今年度はついに、3年ぶりに対面による一斉公開が実施されました。スタジオを巡るバスツアーも復活し、スタジオごとのさまざまな企画も実施され、10周年を迎える次年度に向けた良い出発となりました。



SUPER OPEN STUDIO 全体マップ

- 01 pimp studio
- 02 LUCKY HAPPY STUDIO
- 03 studio kelcova
- 04 ドングリ荘
- 05 STACK ROOM
- 06 アトリエボイス
- 07 Studio HAUSU (スタジオ ハースー)
- 08 RED IRON STUDIO
- 09 モゲスタ Moge Studio
- 10 クンストハウス
- 11 ESA
- 12 STUDIO 牛小屋
- 13 REV
- 14 TANA Studio
- 15 Penguin's House Green
- 16 アトリエ481
- 17 STUDIO カタクリコ
- 18 RMP
- 19 Bartleby
- 20 SPECIAL FEELING STUDIO



マップ上の番号は左の各スタジオの写真と対応しています。



スタジオビジット・バスツアー

ガイド役のアーティストとともに各スタジオを巡るバスツアーです。今回は3年ぶりの対面による実施となり、参加者はスタジオの雰囲気やアーティストとの対話を楽しむことができました。

日時 | 令和4年11月13日(日)・19日(土)・20日(日) 12:00~18:00

参加者の声

- 作品の制作風景も、バス内のラジ的な案内も、スタジオ間でつながりのある雰囲気がとても楽しかったです。
- 現地で活動の様子を知れることはとても意味深い。こうした活動を広く知ってもらい発展する仕組みを作り上げてほしい。

S.O.S. BOOK 2022

2016年から継続的に発行しているS.O.S.の記録冊子です。今回は2013年から2015年までの初期の活動や、今年度の実行委員会のメンバーによる対談をまとめ、オンラインで公開しました。また、そのURLのQRコードを印刷したポケットティッシュを配布しました。



SUPER OPEN STUDIO：制作と山路



SUPER OPEN STUDIO 2022 実行委員会
実行委員長
水上 愛美

1992年東京生まれ。2017年に多摩美術大学絵画学科油画専攻を卒業後、相模原市橋本駅近くのRED IRON STUDIOにて平面作品の制作を続けている。主な個展に「And So it goes」larder gallery (ロサンゼルス/2023)、「Catharsis Bed」CADAN有楽町 (東京/2022)、「So it goes」4649 (東京/2022)、「Dear Sentiment」TOKAS本郷 (東京/2021) など。

山路を登りながら、こう考えた。智に働けば角が立つ。情に棹されば流される。意地を通せば窮屈だ。とかくに人の世は住みにくい。

夏目漱石著『草枕』の書き出し文。そしてこれは2019年当時、WEBデザイン会社で働いていた際に日々何度も目にした文章である。使用ソフトの一つだったillustratorでテキストを入力する際、いつもこの『草枕』の冒頭の文字がサンプルテキストとして表示される。この後の文章はこうつづく。

住みにくさが高じると、安い所へ引き越したくなる。どこへ越しても住みにくいと悟った時、詩が生れて、画が出来る。

仕事中にこの文章が目に入るたび、私が制作場所を構える相模原市橋本のコンクリートの山路が頭を過ぎる。相模原市周辺には、私と同じように、そこで日々制作を行っているアーティストの共同スタジオがいくつも存在する。貸倉庫などの物件が多く、都心からもさほど遠くない相模原は、作品の制作場を設けるのに適した土地であり、さまざまな世代のアーティストがその周辺にスタジオを構えている。

そこに点在するスタジオに参加を呼びかけ、普段の制作場を一般に公開するイベント「SUPER OPEN STUDIO」(以下S.O.S.)が2013年から毎年開催され、私は2019年からは運営メンバーとしてこのイベントに参加している。S.O.S.の核となるイベントは参加スタジオの一斉公開であるが、2020年から2021年の2年間は、新型コロナウイルス感染症が世界中にまん延し、他者との接触が制限されたためオンラインでの開催を余儀なくされた。そして、今回は念願と



なる約3年ぶりの全スタジオ一斉公開を行い、20件以上のスタジオの100人を超えるアーティストが、自身のプライベートな制作現場を公開した。

スタジオ内では日々作家の制作活動が行われている。そこで誰かと喋るのは居心地が良い。作品やその背景にある物事について真剣に話すこともあれば、他愛もない話で盛り上がることもある。汚れた床、制作中に読んでいた本、試し書きの紙、使用素材の残骸。展示会場では削ぎ落とされるような要素がそのまま存在し、公開される時間は、展示会場とは趣の異なるコミュニケーションが生じる時間であり、何より私自身が大事にしたいものであった。

アートラボはしもとは、第1回目の開催から継続して当イベントのサポートをさせていただいており、今回のS.O.S.でも全面的な協力を仰いでいる。そのアートラボはしもとは、現在、リニューアルに向けて準備が進められている。生まれ変わる新・アートラボはしもとの完成が楽しみである。

『草枕』からの引用で始まったので、同小説からの引用でこの文を締めたい。

人の世を作ったものは神でもなければ鬼でもない。やはり向う三軒両隣りにちらちらするただの人である。

日常がまた戻りつつある2023年、S.O.S.は10周年を迎える。同じ地域にスタジオを構えるという共通点で集まった主義主張の異なる100名以上のアーティストたち。その緩やかな連帯は未だ山路を登っている途中だ。



その他活動

多摩美術大学PBL科目との連携事業

さがみ夢大通り×多摩美術大学 まちづくりプロジェクト

多摩美術大学の実践型授業・PBL科目の受講生たちが、さがみ夢大通り商店街と連携し、SDGsを意識しながら企画したプロジェクトです。テーマは「つながり」。まず12月にはイルミネーション点灯式に合わせて、光る風船によるパレードと和太鼓の演奏を行いました。続いて1月には、各店舗が掲げる「夢」を探すスタンプラリーを行っています。ともに多くの親子が参加するイベントとなりました。



夢PON!風船パレード&イルミネーション点灯式の様子

夢PON!風船パレード&イルミネーション点灯式
日時|令和4年12月2日(金)
会場|さがみ夢大通り商店街、相模原駅南口ペDESTリアンデッキ
主催|多摩美術大学 共催|さがみ夢大通り商店街
後援|相模原市中央区 協力|アートラボはしもと



夢PON!ガチャガチャ×スタンプラリーの様子

夢PON!ガチャガチャ×スタンプラリー
日時|令和5年1月22日(日)
会場|相模原駅南口ペDESTリアンデッキ
主催|多摩美術大学 共催|さがみ夢大通り商店街
後援|相模原市中央区 協力|アートラボはしもと

相談・マッチング事業

市民や企業から壁画制作や講師派遣の依頼、アーティストからは制作場所や活動場所探しなどの相談を受け、実現に向けた調整を行いました。案件には、当館との連携事業に至るケースもあります。



クロッキーの会場探しにおけるマッチング事例

出張講座

学校や老人福祉センターなどに職員を派遣し、当館の事業紹介のほか、社会におけるアートの役割や相模原市の美術史などについてレクチャーを行いました。



女子美術大学出張授業

2022年度事業一覧

アートラボが主催する事業 市内施設・団体との連携事業、市内の催しへの出張WS 地域アーティストなどの連携事業
学校や児童クラブなどとの連携事業による出張WSや団体受入 再整備事業

事業名	会期	分類	プログラム名	実施日	参加数	講師など	ページ
どこでもアートラボ～青空工作あそび～	-	工作	たわしてシャカシャカ♪ビビットこいのほりのしおりをつくらう!	2022/5/5	30	当館美術専門員	6
市立図書館・アートラボはしもと連携事業「キッズ★フェスタ2022」	2022/4/23-24	工作	たわしてシャカシャカ♪ビビットしおりを作らう!	2022/4/23・24	106	当館美術専門員、市立図書館職員	-
無印良品 相模大野ステーションスクエアとアートラボはしもと連携事業	-	WS	どこでもアートラボ 泡でフクフク!夏色エコ風鈴をつくらう!	2022/8/19	45	当館美術専門員、無印良品 相模大野ステーションスクエアスタッフ	6
アートラボはしもと×けやき体育館コラボイベント「あつまれ!タンポポ☆スター～段ボールでいろいろつくっちゃおう!～」	2022/9/18・10/23・11/26・12/3・4	工作	ふらっとアート 三角コーンとガーランドに模様をつけよう	2022/9/18	9	けやき体育館職員、当館学芸員、当館美術専門員	3-4
		工作	ふらっとアート トナカイに模様をつけよう	2022/10/23	16		
		工作	ふらっとアート バラスポーツのアイコンと看板をつくらう	2022/11/26	18		
市立図書館・アートラボはしもと連携事業「つくっちゃおう かみしばい!第8幕」	2023/3/18・21・25	WS	紙芝居ワークショップ	2023/3/18・21・25	9	本多ちかこ	6
		その他	スタジオ公開	2022/11/12・13・19・20	1,300	-	7-9
SUPER OPEN STUDIO 2022	ツアー	スタジオ・ビジットバスツアー (1)	2022/11/13	10	鈴木飛馬、長嶺高文		
	ツアー	スタジオ・ビジットバスツアー (2)	2022/11/13	10	水上愛美、吉岡知秋		
	ツアー	スタジオ・ビジットバスツアー (3)	2022/11/19	10	高木大地、吉岡知秋		
	ツアー	スタジオ・ビジットバスツアー (4)	2022/11/19	10	山根一晃		
	ツアー	スタジオ・ビジットバスツアー (5)	2022/11/20	10	高橋ひかり、中尾拓哉		
ツアー	スタジオ・ビジットバスツアー (6)	2022/11/20	10	大槻英世、TODO			
児童クラブ 定期ワークショップ	-	WS	湖からのおくりもの!流木でリースをつくらう!	2022/11/9・17・18	167	当館美術専門員	6
多摩美術大学PBL科目との連携事業「さがみ夢大通り×多摩美術大学まちづくりプロジェクト」	-	その他	夢PON!風船パレード&イルミネーション点灯式	2022/12/2	36	多摩美術大学学生、さがみ夢大通り商店街	10
		その他	夢PON!ガチャガチャ×スタンプラリー	2023/1/22	150	多摩美術大学学生、さがみ夢大通り商店街	
老人福祉センター 浜松園まちかど講座	-	その他	「相模原の美術史～相模原画壇の夜明け～」	2022/8/30	15	当館美術専門員	-
女子美術大学出張授業	-	その他	公共学習ゼミ「アートラボはしもとのミッション」	2022/11/4	110	当館学芸員	10
相模原市立小学校教育研究会 (図画工作科) 研修	-	その他	鑑賞活動の充実に向けて	2023/1/11	38	当館学芸員	-
市立図書館「やへみつりのりさんの紙芝居トーク “紙しばいとほく”」	-	その他	講演会動画撮影	2022/4/17	-	当館美術専門員	-
相模原市立中学校美術授業資料制作	-	その他	「風景に思いを重ねて」	2022/10/18	-	当館学芸員	-
アートラボはしもと再整備事業	-	その他	現地見学会	2022/9/8	84	-	3
		その他	2次審査兼公開プレゼンテーション	2022/12/3	64	-	
			プログラム 参加者数計		2,317		

相談・マッチング事業(詳細P.10)
相談受付数:事業化に向けた相談 計23件
うちマッチング成立件数:講師・作家等の紹介7件/物件(制作場所)の紹介1件